

JA新すながわ



通常総代会

今月の主な内容

- 第23回通常総代会開催
- 定植・移植作業がスタート
- 水稻播種作業開始
- 地区別懇談会開催
- 市場とWEB会議
- JA伝言板



Vol.152
令和3年
5月号

第二十三回通常総代会開催

4月5日、第二十三回通常総代会を砂川市地域交流センターゆうでで開催し、総代約110名が出席しました。

議長には、砂川地区尾崎静夫氏（写真右）と奈井江地区萬秀之氏（写真左）が選出され、2020年度の事業実績の報告、21年度事業計画など議案7件と報告事項2件が承認されました。

20年の農産物取扱高は前年比1千万円減の34億7千万円。税引き前の当期純利益は、同1、916万円増の7、342万円でした。
21年は情報通信技術（ICT）の推進や農業総合サポート事業の展開を進め、農畜産物の取扱高は32億8千万円を計画しました。



組合長挨拶



議長挨拶



監査報告

専務挨拶



質疑の様子



採決の様子

組合長挨拶



代表理事組合長

佐々木 孝 一

新砂川農業協同組合第二十三回通常総代会開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、総代の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

本総代会の開催におきましては、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念しつつも、密を避け、感染予防を徹底しながら、このように開催する運びとなりましたことを、どうかご理解いただきたいと思います。

また、平素より当組合に對しまして格別なご指導・ご鞭撻を頂いておりますことも併せて厚くお礼申し上げます。

げます。

さて、昨年の農業を振り返りますと、積雪が少なく雪解けが大変早く進み、春作業は前倒しになるほど順調に推移したところでした。6月には低温日照不足がやってきましたが、7月中旬からの好天に恵まれ、生育は順調でした。加えて、大きな災害もなく、コロナ禍の中での影響を覚悟しながらも、組合員の皆様はいつも通りに努力しながら農産物の生産に勤しんでまいりました。その結果、どの作物も豊作の中、実りの秋を迎えることができました。

結果的に新型コロナウイルス感染症の直接の影響はあまり受けませんでした、

間接的には、外食需要の減少、お土産品の需要の減少、宿泊施設での需要の減少など、様々なところでの農産物の需要が減りました。今後米をはじめとする農産物の需要が減り、価格の下落が心配されるところです。

農業をめぐる情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、「総合的な食料安全保障の確立」を掲げ、生産基盤の強化や食料自給率と自給力の向上が見直され、加工食品や外食・中食向けの原料の国産への切り替えと輸出拡大に力を入れる方針に変わってきています。また、新型コロナウイルス感染症の緊急対策として、「経営継続補助金」や「高収益作物次期作支援交付金」などの措置が取られたところです。TPP11や日EUのEPAのほか日米貿易協定については、コロナ感染症の影響もあり協議の進捗は鈍いですが、TPP協定においては、中国や英国のほか複数の国が加盟への意向を示

しているところであり、今後の進展を注視していかねばなりません。

そのような心配事の絶えない中でありましたが、当組合の農産物の総取扱高は34億6千7百万円になり計画に対して103.8%の1億2千8百万円増になりました。また、米の集荷量は12万俵を超え、青果物主要3品目の取扱高の合計は8億4千7百万円に上り、それぞれ計画に対し110%以上となりました。その結果、令和2年度の決算は、このような豊作基調が幸いし、事業利益は4千2百万円、税引き前当期純利益で7千3百万円、当期末処分剰余金は1億6千百万円という結果になりました。これも皆、組合員の皆様の農協事業に対するご理解とご協力の賜物と熱くお礼を申し上げます。

また、令和3年度の計画については、第7次中期計画の最終年にも当たります。主な点の一つは、昨年まで検討してまいりました営農

支援の施策であります「担い手農業者を補完する事業」の具体的な方策を徐々にではありますが実施してまいります。

もう一つは、経費削減と組合員サービスの向上のため、資材部署の統合、および管理部門の統合に向けた具体的な検討を行い、実施してまいりますので、どうかご理解のうえ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上、本日の総代会におきましては、決算報告1件、議案7件、報告事項1件のご提案を申し上げますので、総代の皆様には、充分にご審議を賜り、ご承認を頂きますよう、よろしく申し上げます。

最後になりますが、本年も豊穡の秋を迎えられますことと、本日出席の皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。開会の挨拶といたします。

定植・移植作業がスタート



今年の春作業は例年になく積雪により作業の遅れが心配されましたが、4月は気温も上がり雪解けも順調に進み、各品目定植作業が始まりました。

生産者の方々は、より安全でおいしい農産物を消費者に届けたいと思い、収量・単価が良いことを期待し、丁寧な作業に努めています。

佐野農産課長は、「昨年はどの作物も豊作基調であった。本年についても昨年同様の収量を目指し、関連団体と連携を図りながら進めていきたい。また、コロナ禍はまだまだ続くと思えるが、市場との連絡を密に取り、有利販売に努めていきたい」と語りました。



水稲播種作業 開始

4月15日、水稲の播種作業が始まりました。

奈井江町高島地区でゆめぴりか、ななつぼしなど水稲24ha、小麦7.3ha、大豆4.2haなどを作付けする岩口直樹さんは、4月6日に温湯消毒したゆめぴりかを播種しました。

この後、1週間ほどかけ6棟ある育苗ハウスへポット約1万枚を並べました。

5月15日頃田植えを予定している岩口さんは「思ったより雪解けがはやく播種作業への期待が大きかったが、最近の低温が気がかり。これから天候に恵まれることを期待し、高品質・良食味・低たんぱくを目指したい」と語りました。

J Aでは本年度、作付面積1,400ha、118千俵の集荷を目標としています。

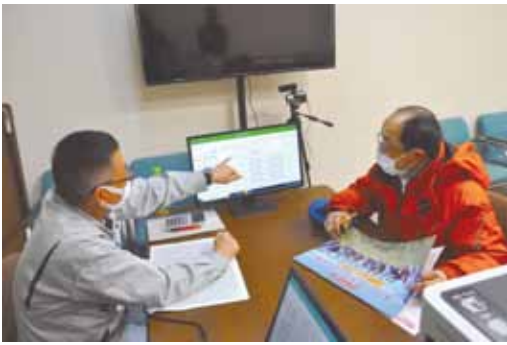


農家と個別面談 施肥アドバイス

J A新すながわゆめぴりか生産協議会と特別栽培米生産組合は、2月26日から3月4日までの延べ5日間、J A本所や奈井江支所で戸別施肥面談を行いました。

空知農業改良普及センター中空知支所の藤原昭博主査らが、生産者ごとの土壌分析の結果などを基に細かくアドバイスしました。

藤原主査は、「今年は雪が多いため、春作業が遅れないか気がかり。早めの融雪で、ほ場を乾かすことが重要」とし、そのうえで「新すながわはここ2、3年低たんばく率が低迷気味で、収量も伸び悩んでいる。今回は過去の実績を見ながら、品質・収量の安定化を意識して面談している。」と説明しました。



本年の施肥量について
熱心にアドバイスを受ける生産者

「雪米の蔵」 雪入れ作業完了

3月10日、営農部米穀畜産課はライスターミナル敷地内にある利雪型低温貯蔵施設「雪米の蔵（ゆめのくら）」への雪の搬入作業を実施しました。本年も雪を強く押し固める必要があるため奈井江町のロータリー車があるため奈井江町のロータリー車が作業に参加しました。

雪米の蔵は、玄米の酸化を抑制し精米まで新米の風味を保つことにより、常に高品質なお米の供給に努めるための施設で、約800トンの雪を冷媒に夏の倉庫内温度を13℃、湿度60%以下に維持します。また、冷房の熱源に雪解け水を使用することにより電力を90%削減する環境にやさしい施設です。

担当の米穀畜産課斉藤調査役は、「昨年は雪不足の影響によりJ Aの他施設から実施日前に雪を集めての作業だったが、今年は例年になく積雪量のためライスターミナル敷地内の雪で十分賄える。作業効率も良く、滞りなく作業を終えることができたと語りました。」



雪米の蔵内に運搬した
雪をロータリー車で
固めている様子

水田センサー 新アプリ説明会開催

J A新すながわ特別栽培米生産組合などは、3月12日、J A奈井江支所で拓殖大学北海道短期大学田中英彦副学長を講師に招き「水田センサー」の説明会を開催し、生産者ら16名が参加しました。

水田センサー「Paddy Watch」（パディウォッチ）は、水田の水位・水温・土壌温度を自動で計測し、水の見回り回数、時間を削減できるシステムで、このデータを活用して適切な水管理をすることで、収量・食味に影響する高温登熟による品質の低下を防ぐことが可能となります。

今回は新アプリ「Field Watch 2」（フィールドウォッチ2）の説明で、このアプリは自動収集して蓄積されたデータをパソコンやスマートフォン等から手軽に確認できるものです。さらに「ゆめぴりか」の移植日と移植葉数を入力すると幼穂形成期の予測ができ、DVI（水管理指標）がアプリによりグラフ化され水管理が簡単になります。

田中副学長は、「今後はななつぼしのデータを採用し、両品種での実用化を目指す」と述べました。



水稲種子 温湯消毒終了

4月6日から27日まで奈井江町旧玄米バラ施設にて水稲種子温湯消毒を実施しました。

本年は約110戸の生産者が使用するゆめぴりか等7品種約31トン（前年32トン）の種子をJ A職員が最大3交替で消毒作業にあたります。

消毒した種子は当日の午後から受け渡しをするため、早朝からの作業が続きますが、担当の営農課奥原主幹は「今年は9日から11日がピーク。午前0時頃からの作業となり、安全を確認しながら作業に臨んだ。」と語り、また、「お湯の消毒で農薬の使用を回避できるので、コスト面を含め生産者にはかなり浸透してきた。将来的には水張面積の8割を目標にしている。」と語りました。



4月6日 工程を確認しながら
作業をする様子

地区別懇談会開催

3月8日奈井江支所、9日砂川本所で地区別懇談会を開催し、46名が参加しました。例年であれば、地区に出向き懇談会を開催するところですが、本年については、昨年同様、コロナ禍のため場所を集約しての開催となりました。

佐々木孝一組合長は冒頭で、昨年度の概況、農業情勢を述べ、畠山参事より令和2年度事業報告、決算概況、3年度計画などを説明し、組合員からは資材部門の統合、管理部門の事務所移転についての質問や利用料の値上げについての意見などが出されました。

最後に林誠専務は融雪の遅れを懸念しながらも豊穰の秋を祈念して閉会しました。今回皆様からいただいた貴重なご意見は、今後のJA運営に活用させていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。

3月8日 奈井江支所 参加人数28名



3月9日 砂川本所 参加人数18名



ひまわりグループ総会開催

ひまわりグループは2月26日、第24回総会を砂川市のJA本所で開きました。部員4名が出席し、2021年度販売計画などの3議案を原案通り可決しました。

高橋宏吉代表は「昨年は主な出荷先である東京がコロナ禍による緊急事態宣言で、イベントはもとより人の外出もままならない状況でのスタートとなった。先行きが不透明状況だったが何とか2年産を終えることができた。今年もどのような状況になるかわからないが、コロナに負けない良品質なヒマワリの出荷に努めていきたい」と挨拶しました。

来賓のJAの笹島博貴営農部長は「本年もイベント等の自粛により花きには厳しい状況であると思うが、JAとして最善の販売努力をしていきます」とバックアップを約束しました。

同グループが生産するヒマワリは、特別な栽培方法で花径を小さく(10cm～4cm)育てたミニヒマワリで、花首は強く日持ちが良いので全国の市場から高い評価を得ており、「花き日持ち品質管理認証制度」に認定されています。



市場とWEB会議

トマト生産組合、ミニトマト部会、キュウリ部会は3月4日から8日にかけて、札幌みらい中央青果など取引市場とパソコンを活用したWEB会議を開きました。

各部会は例年この時期に取引市場を訪問していましたが、訪問できない環境下でもしっかりと情報共有ができるよう初めてWEBでの開催となりました。

会議では、画面をとおして各団体の役員とJAの事務局が取引市場担当者に対し出荷計画などを説明し、品質評価等の意見交換をしました。

参加した役員は「発言のタイミングなど気をつかうところもあるが、訪問した場合と同様に内容の濃い意見交換ができた」と評価しました。また、取引市場の担当者は「市場も直接産地に出向けない状況のなか、WEB利用での情報提供はありがたい。今後は栽培ほ場の様子もリアルタイムで共有するなど、新たな情報提供も期待している」と述べました。



モニターを映して意見交換するミニトマト部会役員

「米トレーサビリティ法」をご存知ですか？

この法律は、食品事故や産地偽装など、米穀に問題が発生した際に、速やかに流通ルート特定し、販売中止や回収等を行うため、米穀や米飯・米加工食品等を販売・提供する事業者は、平成22年10月から、米穀取扱事業者間の取引記録の作成・保存が義務付けられています。

また、平成23年7月からは、消費者が商品選択の際の参考とするため、産地情報の伝達も義務付けられています。

生産者・流通業・米加工品製造・小売販売業・外食業等、米・米加工品等の対象品目取引等を行う事業者の皆さんは、この法律の対象として該当します。

1 取引記録の作成・保存の義務

米穀商品を仕入・販売等する場合は、「①品名、②産地、③数量、④取引年月日、⑤取引先名、⑥搬入場所」を記録した帳簿や伝票類を原則3年間保存することが義務付けられています。

2 産地情報伝達の義務

米穀商品を販売・提供する場合は、伝票類（納品書、領収証等）に産地情報を含む取引記録を記載、または米袋が商品等で米穀の産地情報を伝達することが義務付けられています。

外食店・仕出し・弁当・宅配・出前等で米飯類を提供する事業者は、店舗において、「〇〇産米使用」の産地伝達を貼り紙やメニュー等でお客（消費者）に伝達する必要があります。宅配・出前等の場合は、伝票類やチラシ、はし袋等で産地を伝達する方法もあります。

《産地情報の伝達》



《取引記録の作成》

お客様No. 000777
〒■■■■-■■■■
北海道札幌市■■区1条1丁目1-1
株式会社 米レストラン駅前店 様
下記のとおり納品いたします。

⑤搬入場所

④年月日

売上
納品書: 平成26年4月20日

③数量

NO	商品コード	商品名・規格	数量	単価	金額
1	XY2000123	北海道産 ななつばし(5kg)	10	1,500	15,000

⑥取引先名

備考 ②産地 ①品名

農林米穀株式会社 札幌支店
北海道札幌市■■区2条2丁目2
Tel 0110-234-7890 FAX 0110-234-6901

〈例〉 納品書

納品書や領収書などを受領して、これを3年間保存すれば取引記録を作成したことになります。

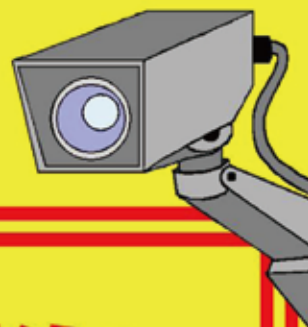
詳細・お問い合わせ先

・農林水産省ホームページ（「米トレサ」で検索） [クリック](#)

米トレサ

・北海道農政事務所消費・安全部米穀流通・食品表示監視課 ☎011-330-8814

農家の皆様へ



農畜産物の盗難にご注意ください!!

【防犯上のポイント】

- ◎ 収穫物や作業道具（コンテナや脚立等）は、放置せずに持ち帰りましょう
- ◎ ハウスや保管庫等の窓、出入口の施錠を徹底しましょう
- ◎ 防犯カメラ、センサーライトを設置し、通行人から見える位置に「防犯カメラ作動中」等のステッカーや看板等を設置しましょう
- ◎ 不審者・不審車両を見かけた場合は、速やかに警察に通報しましょう



ツイッターで防犯情報等発信中！

ツイッター 北海道警察 防犯情報

検索



JAグループ北海道・北海道警察



北海道コンサドーレ札幌 栗山トレーナーによる 農作業にも役立つセルフコンディショニング講座VOL. 1

選手達のコンディショニング、フィジカルトレーニングを担当している栗山渉トレーナーが誰でも簡単にトライできる、セルフコンディショニングの方法をご紹介します！
スポーツをしている人も、していない人もチャレンジしてみましょう！

■栗山 渉（くりやま わたる）

1981年4月9日生まれ。京都市出身。北海道大学 医療技術短期大学部 卒。
2006年からコンサドーレ札幌アカデミーのトレーナーを務める。
保有資格は理学療法士、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー。

今回のテーマ
ケガ予防のための
ストレッチ

START!

10. ふくらはぎのストレッチ



足を前後に開いて立って、
うしろ足のスネを前に倒す

1. 腰のストレッチ①



両手で両膝をかかえる

2. 腰のストレッチ②



膝を倒して両手を開く、
顔は膝と反対側を向く

9. 股関節前面のストレッチ



足を前後にひらいて
腰を前に移動

長い自粛期間後、急に運動を再開したことで腰、膝などに疲れや違和感が生じていませんか？

自粛期間によって筋力、持久力が低下しているので、しっかりセルフケアをしないとケガをしてしまいます。

運動直後やお風呂上がりに全身をストレッチすることを習慣にして、ケガを予防しましょう。

筋肉が痛みなく心地よく伸びる程度で20秒間静止し、1～3セット繰り返しましょう！

※ 無理に筋肉をストレッチすることは厳禁です。痛みがでない範囲で優しくストレッチしましょう。

強い痛みが続くようであれば整形外科を受診することを検討しましょう。

3. 太もも前のストレッチ



下側の足のつま先、上側の足の膝を押さえる

8. 足首のストレッチ



踵が浮かないようスネを
前に倒す

4. 股関節内側のストレッチ①



足裏を合わせて背すじを
伸ばした体を
前に倒す

7. 股関節内側のストレッチ②



四つ這いの状態から足を開く

6. 太もも裏のストレッチ



足を伸ばして、背すじを伸ばした
まま体を前に少し倒す

5. 股関節後面のストレッチ



膝を曲げて足を前に出して、
体を倒す

JAグループ北海道 と 北海道コンサドーレ札幌 は「食農パートナー」です！

AGRIACTION! HOKKAIDO



JAグループ北海道

×



北海道コンサドーレ札幌

食育・社会貢献活動 シンボルマーク募集

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道が取り組む
食育・社会貢献活動を道内外に広く認知頂き発展を目指すことを目的として
活動のシンボルマークを募集します。



応募期間

令和3年4月1日（木）～6月25日（金）



表彰

最優秀賞 1点

シンボルマークとして採用

農畜産物セット 5万円分

北海道コンサドーレ札幌

ホームゲーム来賓席チケット・グッズ

優秀賞 2点

農畜産物セット 3万円分

北海道コンサドーレ札幌

ホームゲーム来賓席チケット



応募資格

プロ・アマ・年齢を問わず、どなたでも何点でも応募できます。

〇お問い合わせ先

北海道農業協同組合中央会 総管理室 共通広報

電話：011-232-6450

E-mail：kouhou@chuo.ja-hokkaido.gr.jp

※詳細はJAグループ北海道ポータルサイトを
ご確認ください。

<https://ja-dosanko.jp/>



JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌の食農パートナーです



理事会審議報告

第2回理事会（3月5日開催） の顛末をお知らせします。

◎報告事項

- 一、農業委員会報告
 - ①砂川市農業委員会
 - ②奈井江町農業委員会
 - 二、各委員会報告
 - ①管理・金融共済委員会
 - ②営農委員会
 - ③経済委員会
 - 三、令和二年度決算に係る監事監査報告について
 - 四、行事予定について
 - 五、その他
- ◎付議事項
- 議案第一号 令和三年度役員報酬審議会の答申について
- 議案第二号 定款の一部変更について
- 議案第三号 共済規程の一部変更について
- 議案第四号 令和三年度余裕金の預入先金融機関（系統外）並びに運用基準の決定について

第3回理事会（3月17日開催） の顛末をお知らせします。

◎報告事項

- 一、各委員会報告
 - ①農家経営改善委員会
 - 二、内部監査報告について
 - 三、令和二年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について
 - 四、組合員の異動について
 - 五、行事予定について
 - 六、その他
- ◎付議事項
- 議案第一号 みのり監査法人（期末監査）の監査報告書について
- 議案第二号 令和二年決算書類、注記表、業務報告書、付属明細書及び部門別損益計算書の承認について
- 議案第三号 第二十三回通常総代会の招集について
- 議案第四号 役員賠償責任保険

第4回理事会（4月14日開催） の顛末をお知らせします。

◎報告事項

- 一、組合長会議報告
 - 二、農業委員会報告
 - ①砂川市農業委員会
 - ②奈井江町農業委員会
 - 三、各委員会報告
 - ①農家経営改善委員会
 - 四、三月末財務報告について
 - 五、組合員の異動について
 - 六、行事予定について
 - 七、その他
- ◎付議事項
- 議案第一号 役員報酬の配分について
- 議案第二号 砂川市社会福祉協議会役員推薦について
- 議案第三号 行政庁への業務報告書の提出について
- 議案第四号 情報セキュリティ基本規程の一部改正について
- 議案第五号 令和三年度第一回地区別懇談会の意見要望について



組合員の動き

議案第六号 固定資産の修繕について

議案第七号 信用評定について

◎今回加入

正組合員 一名

◎今回脱退

正組合員 五名

◎合 計

正組合員 五八二名
准組合員 二、八五七名

職員の動向

定年退職（3月31日付）

鈴木 貴也（経済部奈井江資材課自動車農機係 査役）

依願退職（3月31日付）

加藤 圭二（管理部付主幹 株式会社 クレン商事 出向）

辞 令（4月1日付）

管理部管理課係長 査役

鈴木 尚也（管理部管理課 理係）

経済部砂川資材課資材係主幹

坂本 直樹（経済部砂川資材課 資材係主査）

金融共済部奈井江支所金融共済課金融共済係主幹

小口 成美（金融共済部奈井江支所金融共済課金融共済係主査）

経済部砂川資材課資材係主幹

長野 浩一（経済部砂川資材課 資材係主査）

経済部奈井江資材課自動車農機係 嘱託

鈴木 貴也



一人一人が 創意工夫を

4月1日、JA本所にて、昇給・昇格辞令を含む全体朝礼が行われました。

佐々木組合長は、「コロナ禍の影響により事業計画も厳しく予見しているが、職員一人一人が創意工夫を重ねれば計画達成は可能であると考えている。皆さんの本来の力を発揮し前向きに業務に励んでほしい」と訓示しました。



4月14日、業務終了後職員全体会議がWEB会議方式にて本支所で行われました。



冒頭、佐々木組合長は「収益について今まで信用事業に頼りすぎた。職員には一部手当の廃止、組合員には施設利用料を上げさせてもらったが、まだまだ十分な利益確保は難しい。JA全体が令和3年度は良い年であったと思える年になるよう個々が努力してほしい」と挨拶し、林専務は「コロナ禍により先の見えない状況が続くが、縦・横連携しながら皆さんには活躍していただきたい」と述べました。会議では、畠山参事より令和2年度決算概況、3年度の計画及び給与規程の改訂等について説明が行われました。

退職のご挨拶



経済部奈井江資材課自動車農機係
査役 鈴木 貴也

定年退職にあたり、一言お礼のご挨拶を申し上げます。

私こと、この度三月末日をもちまして新砂川農業協同組合を定年退職致しました。

顧みますと昭和五十九年二月より奈井江町農業協同組合にアルバイトとしてお世話になり、昭和六十三年四月より今日まで大過なく勤めさせて頂きましたことは、ひとえに組合員の皆様はじめ、役職員の方々のご指導とご厚情のおかげと心中より御礼申し上げます。

尚、今後は再任用職員として引き続き務めさせて頂いたことになりましたので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員皆様と役職員皆様の益々のご健勝、ご活躍と新砂川農業協同組合の更なるご発展をご祈念申し上げます。退職のご挨拶とさせて頂きます。

有り難うございました。

奈井江資材課 FAX番号変更のお知らせ!!

奈井江資材課のFAX番号が下記のとおり変更となりますので宜しくお願い致します。

変更前 FAX 65-2122



変更後 FAX 65-2803 (農機と兼用)

なお、一般電話は変更ありません。

(資材部門 ☎65-2122 自動車農機部門 ☎65-2218)

さしあげます 2021

北海道のつみたて
お米のつみたて
JA特産品
お礼のギフト



よりそう

※賞品は昨年の景品内容となっており、異なる場合がございます。

期間中に 年金受取 給与受取 JAネットバンク JAカード JAバンクローン のいずれかを

新たにお取引いただいた方を対象に

JA特産品を **2,000** 名様に
抽選で最大 **プレゼント!**



お申し込みは
お近くのJA窓口へ!

JAバンクアプリで
当選確率アップ!!

第1期	受付期間	2021年 4/18~7/30	抽選数	1,000名	抽選時期	2021年 9月頃予定
第2期	受付期間	2021年 8/20~12/30	抽選数	1,000名	抽選時期	2022年 2月頃予定

ダウンロードは
こちらから



※当選者には、抽選結果の通知メールを送付いたします。当選者には、抽選結果の通知メールを送付いたします。

初めてJAで
口座開設した方
限定!



口座開設月の翌々月の月末時点までに、JAカードとJAネットバンクをお申込み
いただき、WEBからご応募いただいたお客さま限定で

JAカードポイント1,000円相当をプレゼント!

詳しくはWEBサイトをご覧ください ▶ <https://www.jabank.org/brand/specialgift2021/>

詳しくは、お近くのJAバンク窓口
にお問い合わせください。

JAバンク 北海道

JAバンク北海道 検索